



としょかんだより

中央図書館 TEL 72-1135 東粟倉図書館 TEL 78-3650
 作東図書館 TEL 75-0007 大原図書館 TEL 78-3111
 英田図書館 TEL 74-3104 勝田図書館 TEL 77-1111

開館時間：9時30分～18時（中央・作東・英田・東粟倉館）
 10時～17時（大原・勝田館）



図書館内での感染防止にご協力を！

閲覧コーナーや学習スペースの利用など、
 長時間の滞在を一部制限しています。
 引き続き、感染防止のため、ご理解
 とご協力をお願いいたします。



12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 休館日
 □ 大原・勝田休館日

(蔵書点検に伴う臨時休館)

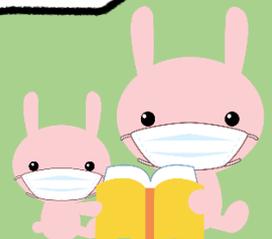
東粟倉図書館 11月29日(火)～12月4日(日)



おはなし会

- 12月3日(土) 10時～11時 旧大吉保育園ほけっとホール(ほけっと)
- 12月10日(土) 10時～11時 中央図書館(にじの会)
- 12月10日(土) 10時～11時 東粟倉図書館(ほけっと)
- 12月14日(水) 10時～11時 英田図書館(お話ししゃポッポ)
- 12月17日(土) 14時～15時 作東図書館(タンポポ)

おはなし会スタッフはマスク、
 飛沫ガードを着用していま
 す。参加される方もマスク
 の着用をお願いします。



急遽中止となる場合がありますので、各図書館へお問い合わせください。

赤字は毎月の定期巡回日です
今月の巡回日は・・・



ぶっくる号
巡回コース

巡回日程	定期巡回場所(時間)	※祝日は巡回しません
第1・3金曜日 12/2 . 12/16	梶並やまゆり苑 (11:00~11:30) 大野コミュニティ広場 (13:10~13:40)	豊野公民館 (16:00~16:30)
第1・3土曜日 12/3 . 12/17	大吉コミュニティ広場 (10:00~10:30)	勝田東小学校 (11:10~11:40)
第2・4土曜日 12/10 . 12/24	旧栗井小学校 (10:00~10:30) 勝田ひまわりドーム (16:00~16:30)	大原公民館 (11:30~12:00)
第2・4日曜日 12/11 . 12/25	豊国公民館 (10:00~10:30)	勝田総合運動公園 (11:00~11:30)



雨天、強風など・・・悪天候により
ぶっくる号の運行を、急遽中止する場合があります。ご了承ください。



@みらいぶ
秋まつり

返却日しおりをあつめよう!

期間 2022年10月22日(土) ~ 11月29日(火)

配布場所 市内各図書館、移動図書館車ぶっくる号

本を借りた際にもらえる返却日しおりを3枚集めると、
図書館オリジナルマスキングテープをプレゼント!

※記念品交換はおひとり様1回までです。



-12月4日~10日は人権週間です-



12月1日(木)~12月27日(火)
市内全館

美作市立図書館では人権週間にあわせて、
12月の期間中、各館に人権コーナーを設置します。
人権をテーマにした本を読んで、『人権』について
考えてみませんか?



「クリスマス」クリスマスに関する本を紹介します



今月のおすすめ

サンタさんのゆめ・トナカイさんのゆめ

おもちゃびじゅつかんのクリスマス

聖夜のおでん

山口 恵以子/著



はせがわ ゆうじ/絵
クリスマスがちかづくと、
サンタさんは、大いそがし。
願いを叶えて自由になった
サンタさんが見つけた“本
当の幸せ”とは――



デイヴィッド・ルーカス/作
ここはおもちゃのびじゅつかん。
夜の美術館を舞台に、おもちゃ
たちがのびのびと活躍する、楽
しさいっぱいの絵本!



姑の一子、嫁の二三が営む
「はじめ食堂」は、新メニュー
開発にも余念がない!
でも常連の瑠美、康平カッ
ブルの仲が、どうも気になって
しまい――

新着・おすすめ本



一般書

変な絵

雨穴/著

見れば見るほど、何かがおかしい？とあるブログに投稿された9枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の真実とは!?その謎が解けたとき、すべての事件が一つに繋がる！戦慄のスケッチ・ミステリー！



爆弾犯と殺人犯の物語

久保りこ/著

小夜子は学生時代に事故によって左目に義眼を入れていた。空也は彼女を愛したのだが、事故の原因が自分自身が造った小さな爆弾であることを知る。秘密を抱えた夫婦が紡ぐ不可思議な物語。



プリテンド・ファーザー

白岩 玄/著

一人で4歳の娘を育てる恭平。亡き妻に任せっぱなしだった家事・育児に突如直面する毎日。そんななか再会するのが、1歳半の息子を育てていた高校の同級生・章吾。2人の父と娘と息子という4人暮らしが始まるも、すぐにひずみが生まれて……。



オリンピックを殺す日

堂場 瞬一/著

コロナ禍にもかかわらず、強引に開催された東京五輪。数年後、新たなスポーツ大会「ザ・ゲーム」の計画が浮上した。記者は、この大会を仕掛ける、謎の組織の正体を暴けるのか。五輪の意義を問う、衝撃のサスペンス！



歴史をこじらせた女たち

篠 綾子/著

「悪女」「猛女」と言われた、持統天皇、北条政子、日野富子、淀殿。もしこの人がいなかったら歴史はどうなっていたらと思う「こじらせ女子」大集合！



ムラヨシマサユキのスコーンBOOK

ムラヨシ マサユキ/著

熱々の紅茶とジャムとクリームを添えて小麦粉の香ばしさ、バターの甘い香りを楽しむ、素朴な焼き菓子、イギリス生まれの「スコーン」を紹介！



手網でかんたんコーヒー焙煎

岩田 知也/著

カセットコンロや、身近な道具を使った日々の焙煎のほか、炭火を使った焙煎方法も紹介。長年研究を重ねた手網焙煎のノウハウを指南するハンドブック！



茶花の見分けかた、育てかた

塩見 亮一/著

本書では茶花を対比させ、その見分けるポイントを解説！さらに、茶花を自宅で育てて慈しみたいという人のために、鉢や苗木の購入から用土・肥料・剪定に至るまで、大切に育てるコツを詳細に伝授。



新・日本懐かし自販機大全

魚谷 祐介 /著

大きく変化を遂げたレトロ自販機の”いま“を巡る、魚谷祐介の新たな旅。奇跡の復活機に新たな自販機スポットも。あの頃の味と郷愁を求めて、今なお「昭和」が息づく癒しと温もりの場所へ！



なんでもない一日の辞典

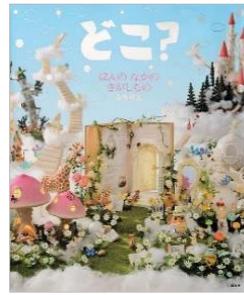
山口 諤司/著

毎日同じような日常を繰り返していると、その日見た景色や、抱いた感情をすぐ忘れてしまう。本書では一日、24時間ごとにその時間で連想する言葉を紹介。日々の小さな変化に癒される一冊。



ぞうさんのおてがみ

いもとようこ/文・絵
 冬のある日、動物園の子どもがぞうさんに手紙が届いた。えりまきをくれた人間の男の子が書いてくれたものだった。字の書けないぞうさんは、それから何度も何度も練習して…。大切な誰かに手紙を書きたくなる、優しくて温かい絵本。



どこ? ほんのなかのさがしもの
 山形 明美/作
 大人気ロングセラーのさがしもの絵本「どこ?」シリーズ、待望の最新刊のテーマは「えほんの旅」。つぎつぎとあらわれる絵本を手にとり、めくっていくと……。



すかしてピクリ! 手のしくみ
 イダン・ベン=バラク/作
 まっすぐ伸ばしたり、力を入れたり、何をさわっているかわかるのは、「手」に骨や筋肉や神経があるから。遊びながら「手のしくみ」がわかるゆかいな科学絵本!

ぱっかーん!

砂糖 ゆき/作
 さあ、今日の献立は何かな。「ぱっかーん!」とユーモラスな音(オノマトペ)を繰り返すたびに、色々な食材がダイナミックに形を変えていく。離乳食に慣れてきた1歳ごろからおすすめしたい食べものの絵本!



モモンガのはいたつやさん
 もりのいたずらっこ

ふくざわ ゆみこ/著
 モモンガさんが住む森では、このところいたずらがあちこちでおきていて困っている様子。動物たちはみなで相談して、いたずら好きのワオキツネザルにいたずら返しを考えて…。



じぶんのきもち みんなのきもち



チン・レン/絵
 転校初日に男か女かきかれた女の子が「どっちでも いいじゃん!」という、子どもたちが自分がきかれたくないこと、きいてほしいことをつぎつぎと口にする。多様性が謳われる現代に一人ひとりを尊重するとはどういうことかを問いかける絵本。

はじめてのオニずかん

いとう みちろう/絵
 さまざまなオニたちを迫力たっぷりのイラストで紹介! オニの説明はお子様向けのやさしい文章で書かれており、いちばん最初に読むオニの本にぴったり!



10歳から読める・わかるいちばんやさしい刑法

和田 俊憲/著
 刑法そのものの定義や意義をはじめ、条文で定められている主な刑罰の種類と内容、刑罰が科せられるルールなど、イラストを交え、わかりやすく紹介!



雨の日は好きな人

佐藤 まどか/著
 小学6年生の七海は、お母さんが再婚し、あたらしいお父さんとあたらしいおねえちゃんができた! でも、家族になるのはそんなに簡単なことではなかった。小さいお姉ちゃんと新しいお父さんの間で、複雑な家庭の中で揺れる少女の心を描いた一冊。



ラベンダーとソプラノ

額賀 濤/作
 「今年こそ金賞を」の重圧と厳しい練習で崩壊寸前の合唱クラブ。小6の真子はボーイソプラノの朔や商店街の合唱団と出会い、頑張ることの意味やクラブのあり方を考える。

